高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

会社説明会

2017年 1月 21日

本日お伝えしたいこと

1. **会社概要**
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. 株主還元方針
8. ご参考情報

1-1. 会社概要『独立系技術商社』

（2016年3月期）

設立	1952年3月13日 （第66期）
決算期	3月
資本金	12億848万円
社長	戸田 秀雄
連結総資産	182億5,386万円
連結売上高	199億8,680万円
連結従業員数	484名
連結子会社数※	8社（国内2社、海外6社）

※ 2017年1月1日現在
※ SPC（特定目的会社）2社除く

1-2. 社名の由来と企業理念

日本神話における天地『創造』の象徴・代名詞 「高千穂」

貿易を通じて、海外との文化交流にも貢献したい 「交易」

企業理念

技術商社として、『創造』を事業活動の原点に据え

1. テクノロジーをとおして、お客様のご満足を高めます。
2. 技能と人間性を磨き、世界に通用する信用を築きます。
3. 力を合わせて、豊かな未来を拓き、社会に貢献します。

1-3. 主な沿革

1952年	設立 米国バロース社（現ユニシス社） と日本総代理店契約し、電子計算機を販売開始
1963年	日本初OCR システムを販売開始
1970年	**日本初商品監視システム（万引き防止システム）、スライドレールを販売開始**
1971年	**半導体、自動封入封緘システムを販売開始**
2000年	JASDAQ 上場 入退室管理システムを販売開始
2002年	（株）クボタから株式会社エスキューブを買収
2004年	東京証券取引所市場第2 部上場
2005年	東京証券取引所市場第1 部指定
2011年	Tyco Fire & Security Ltd. から Takachiho Fire,Security & Services(Thailand)Ltd. を買収
2012年	丸紅(株) からマイティカード株式会社を買収
2014年	United Technologies Corp. から Guardfire Ltd. 及び Guardfire Singapore Pte. Ltd. を買収
2015年	Takachiho America,Inc. を設立

1-4. 当社の特徴

① **「安全・安心・快適」を共通項**としたシステム機器、機構部品、半導体などを取り扱う**BtoBの商社**

② 万引き防止システムや機構部品のスライドレールでは、**国内トップクラスの高シェア**を誇る

③ 技術系社員の割合が40% 超の **「技術商社」**

④ **自己資本比率は８期連続で70%超**の安定した財務体質
（ 赤字になったのは、過去65年間で1回だけ ）

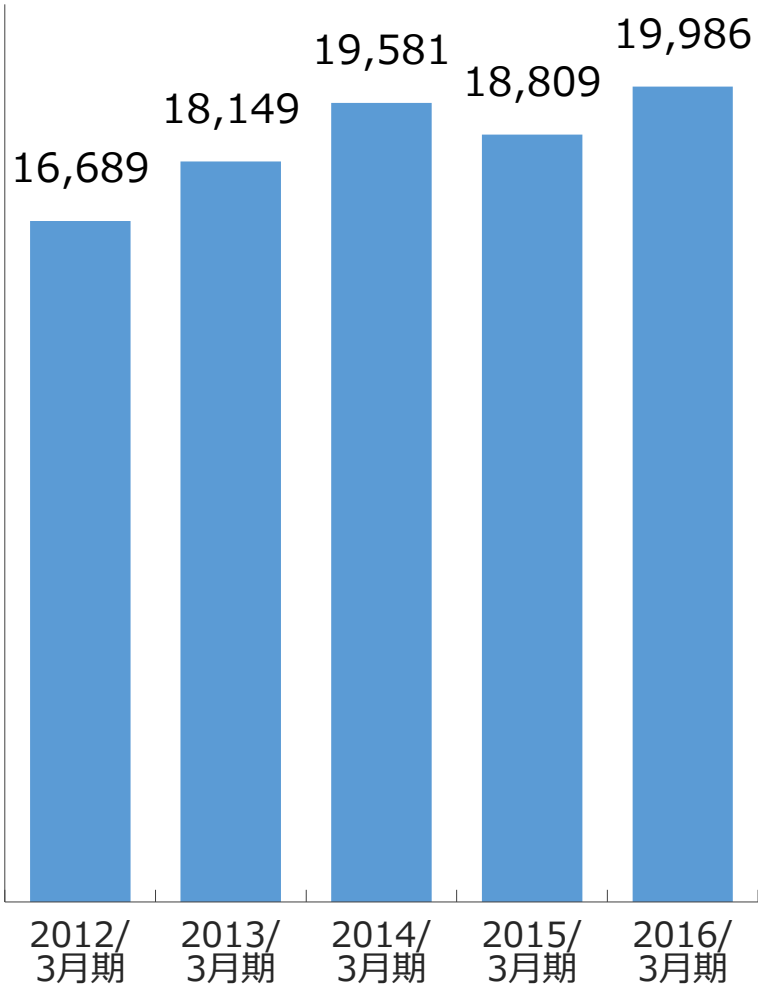
⑤ **M&Aを活用**し、「独自ソリューションの展開とグローバルビジネス拡大」を図る

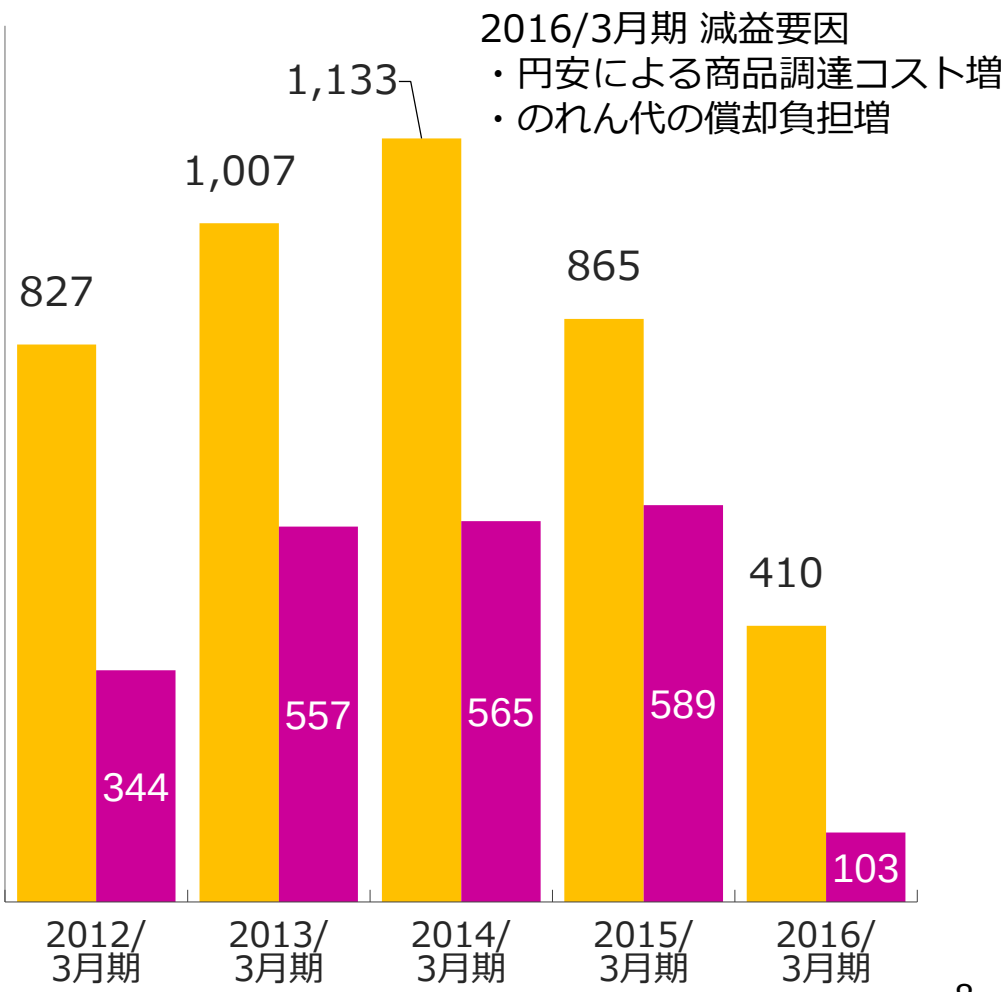
本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. **事業の概要**
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. 株主還元方針
8. ご参考情報

2-1. 連結損益推移

（単位：百万円）





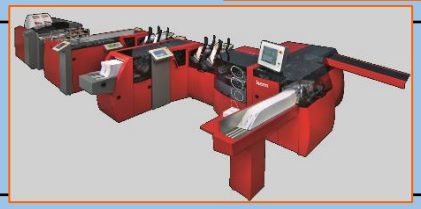
2-1. 連結損益推移

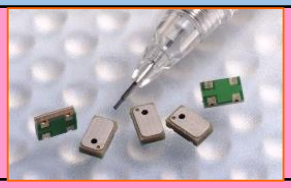
（単位：百万円）

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	**16,689**	**18,149**	**19,581**	**18,809**	**19,986**
売上総利益	**4,635**	**5,205**	**5,360**	**4,935**	**4,973**
売上総利益率（%）	27.8	28.7	27.4	26.2	24.9
販売費及び一般管理費	**3,877**	**4,379**	**4,330**	**4,247**	**4,536**
販管費率（%）	23.2	24.1	22.1	22.6	22.7
営業利益	**757**	**826**	**1,030**	**688**	**436**
営業利益率（%）	4.5	4.6	5.3	3.7	2.2
経常利益	**827**	**1,007**	**1,133**	**865**	**410**
経常利益率（%）	5.0	5.6	5.8	4.6	2.1
親会社株主に帰属する当期純利益	**344**	**557**	**565**	**589**	**103**
当期純利益率（%）	2.1	3.1	2.9	3.1	0.5

2-2. 商品セグメント

セグメント	プロダクト（商品類）	商品例
システム	セキュリティ	・商品監視（万引き防止）システム ・映像監視システム ・ストアマネジメントシステム ・ディスプレイセキュリティシステム ・オフィス入退室管理システム ・防火システム
	その他ソリューション	・メーリングシステム ・RFIDシステム ・ネットワークシステム
	カストマ・サービス	システムセグメント内の商品の構築・保守・運用管理
デバイス	電子	・アナログ半導体 ・通信用電子部品 ・各種センサー
	産機	・スライドレール ・ガススプリング ・ソフトクローズユニット ・電子錠

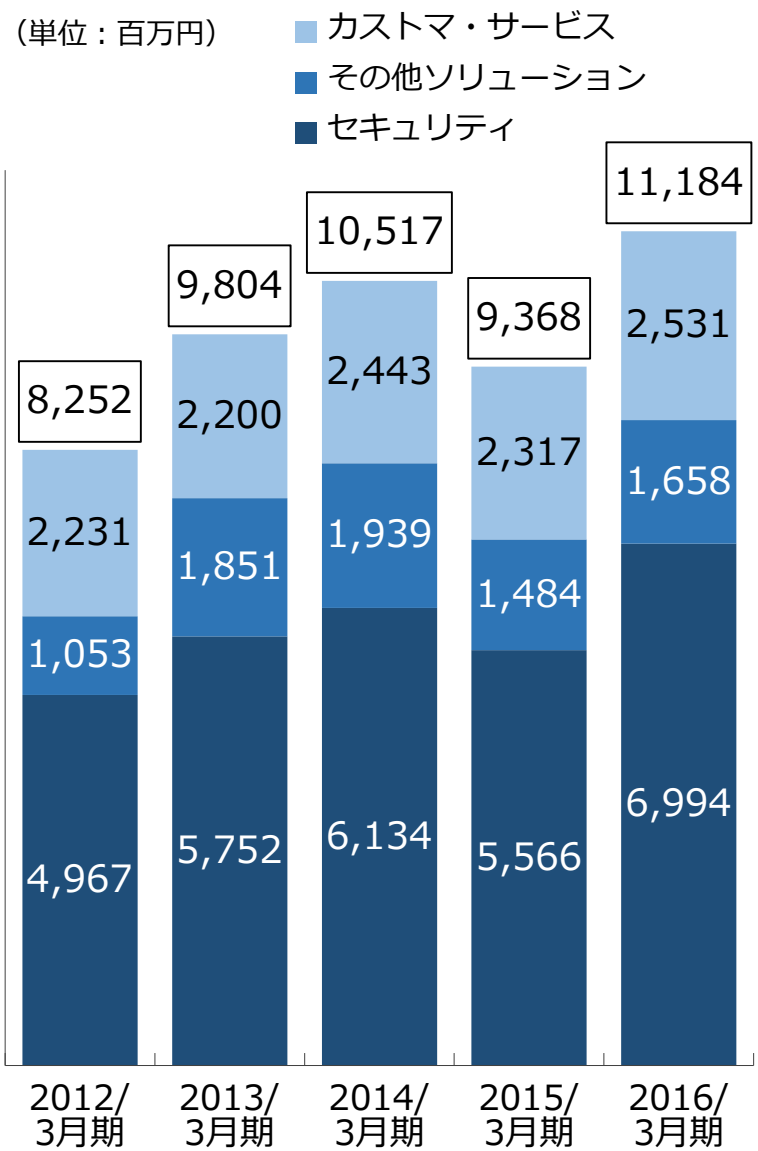




本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. 事業の概要
3. **システムセグメントについて**
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. 株主還元方針
8. ご参考情報

3-1. プロダクト別売上高



①増減要因

a. 2015/3月期は消費税増税前の駆け込み需要の反動減により減収

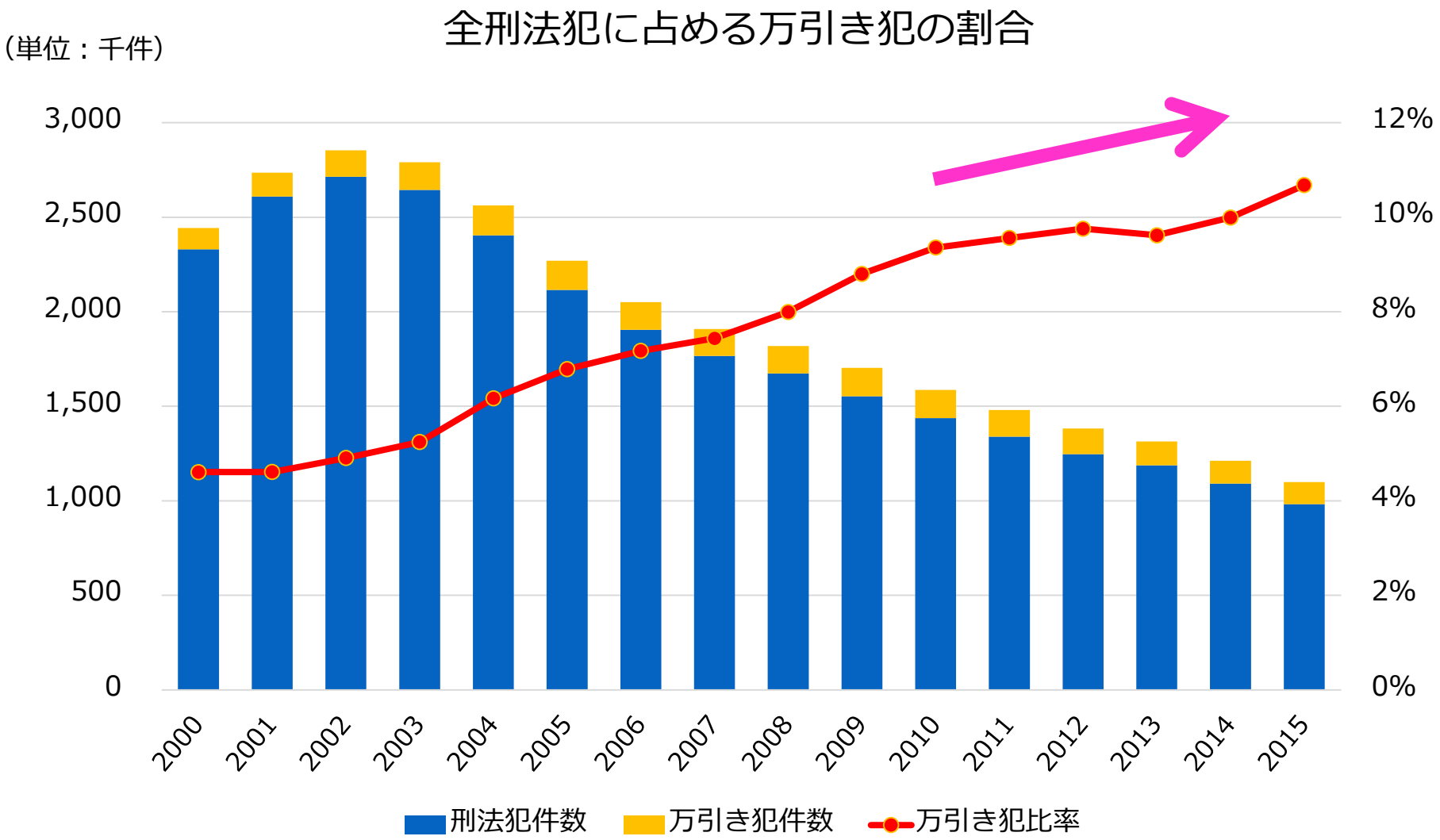
b. 2016/3月期は買収した高度防火システムを扱うGuardfire社が貢献

②主要販売先と販売商品

■ セキュリティ		
a	小売店	商品監視システム、映像監視システム、ディスプレイセキュリティシステム
b	オフィス・工場	入退室管理システム、映像監視システム
c	発電・石油プラント	防火システム
■ その他ソリューション		
a	アパレル小売店	RFIDシステム
b	物流	RFIDシステム
c	DM発送業	メーリングシステム
d	小売店・オフィス	クラウド型無線LAN

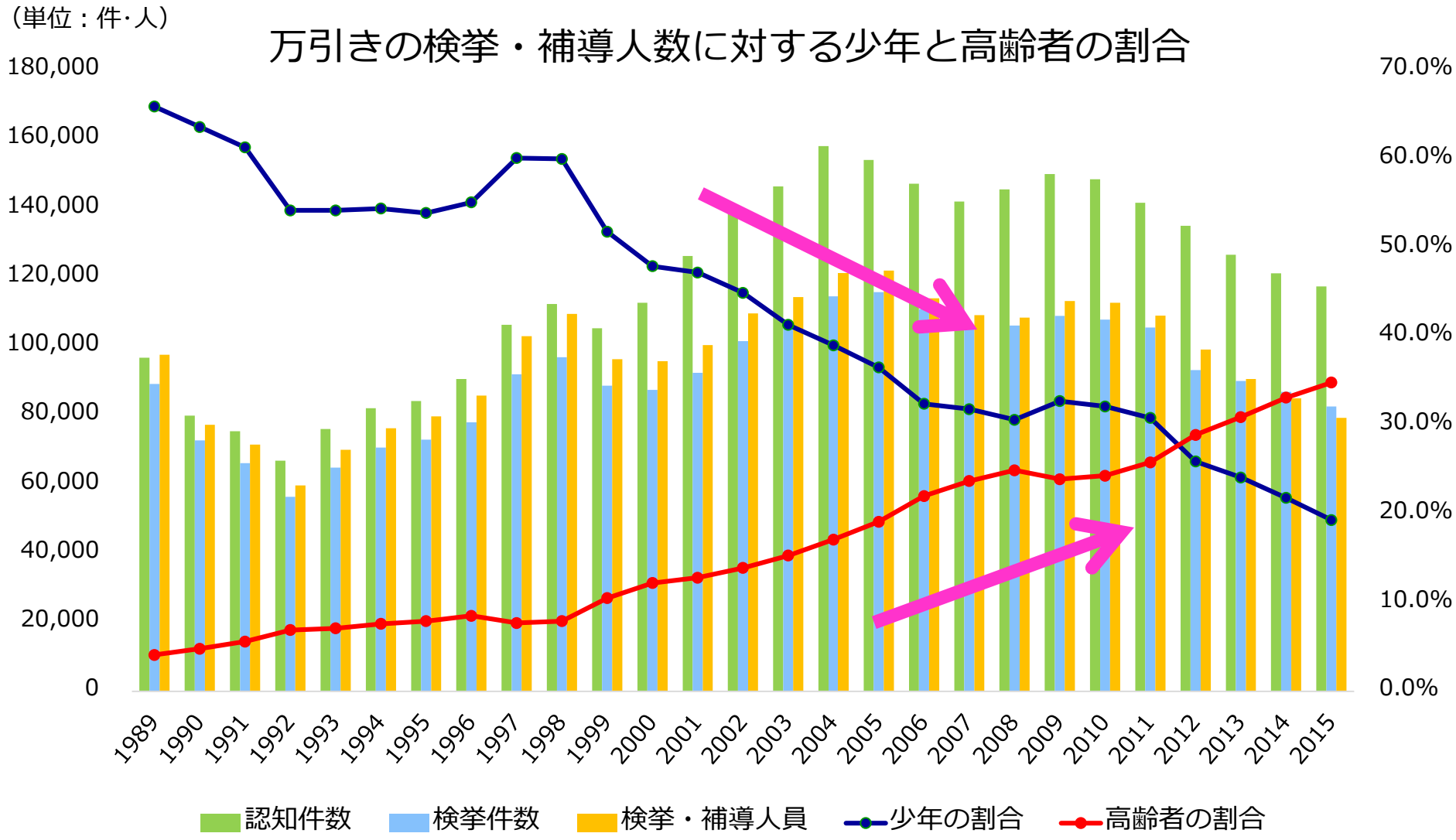
3-2. セキュリティプロダクト【万引き防止システム】

3-2. セキュリティプロダクト【万引き犯罪動向】



出典：警察庁の白書・統計のページより全国万引犯罪防止機構まとめ

3-2. セキュリティプロダクト【万引き犯罪動向】



出典：警察庁の白書・統計のページより全国万引犯罪防止機構まとめ

3-3. セキュリティプロダクト【防火関連】

Guardfire

ガードファイアー社 とは

① 2014年12月にM&Aにより取得

② **高度防火システムプロバイダー**として、
PPOG※向けに最適なデザイン・機器供給を実施

③ 東南アジア地域全域を対象

④ **顧客は主に日系**・韓国系の大手プラント建設会社

⑤ NFPA遵守が求められるプロジェクトで優位性を発揮

※ PPOG ： Power Petrochemical Oil and Gas （発電所・化学工場・石油施設・ガス施設）
※ NFPA ： National Fire Protection Association
米国防火協会が制定する防火・安全設備および産業安全防止装置などの規格

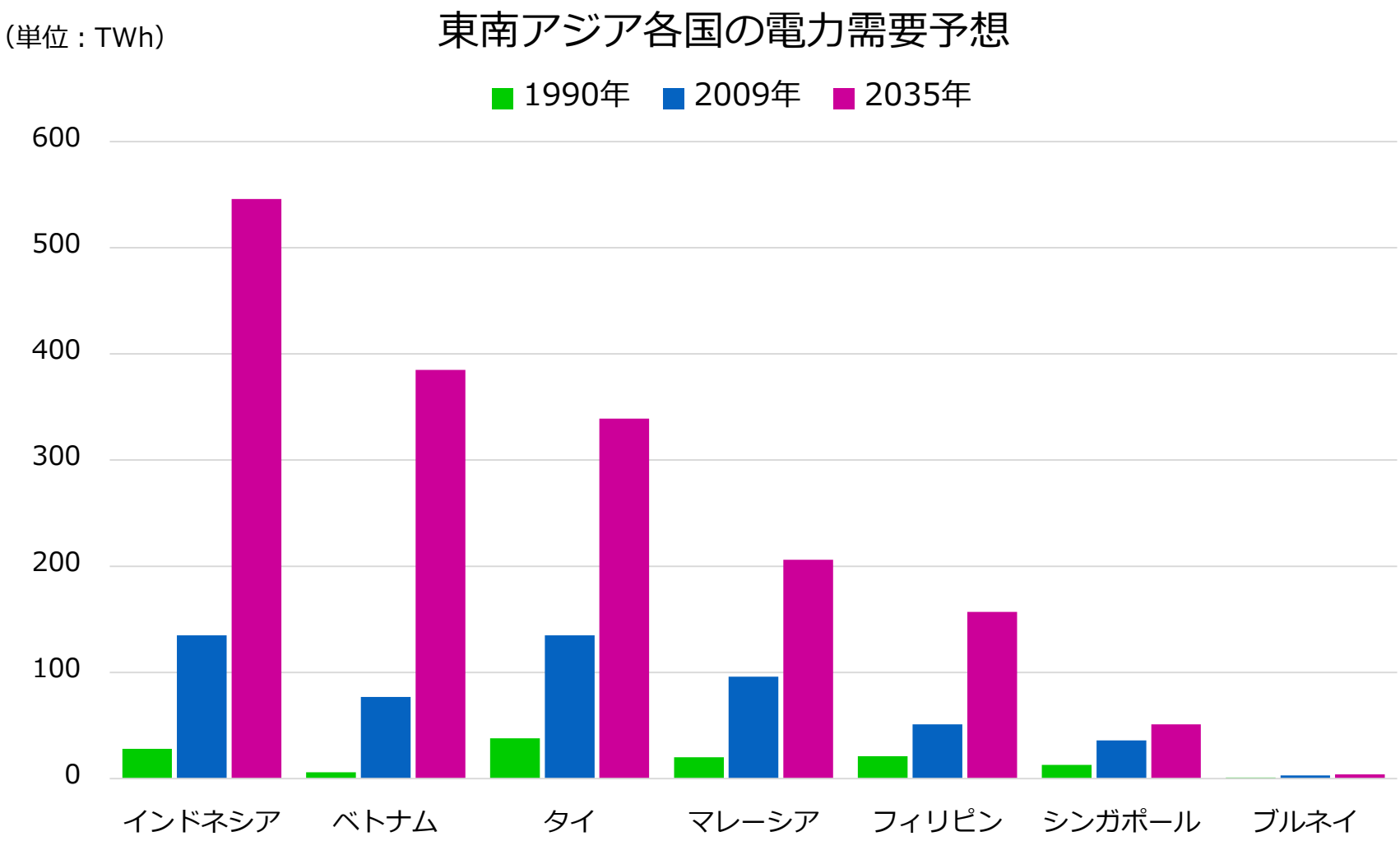
3-3. セキュリティプロダクト【防火関連】

Mae Moh 発電所

主要顧客

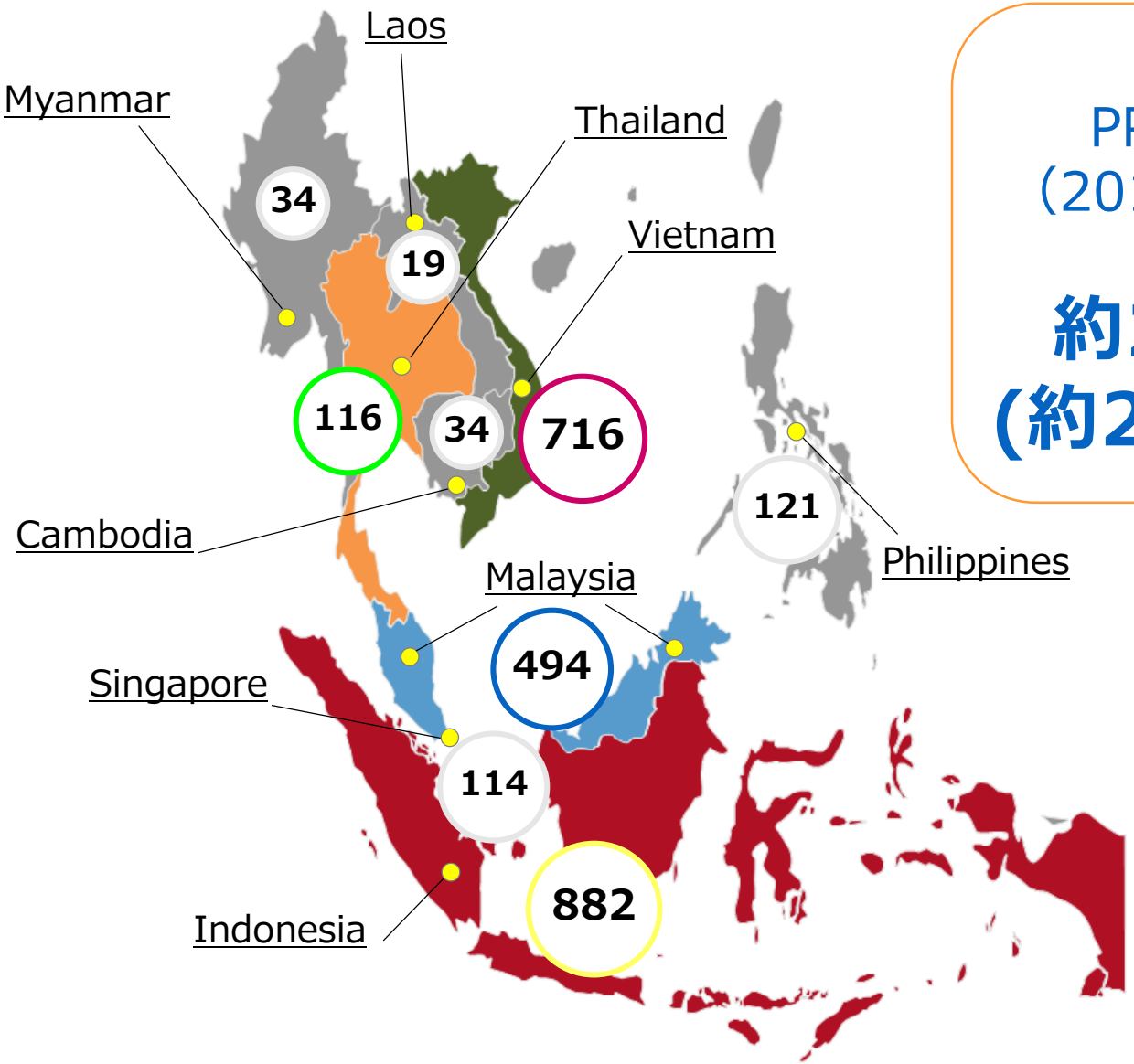
大手
プラント建設会社

3-3. セキュリティプロダクト【防火関連】



出典：APEC Energy Demand and Supply Outlook抜粋

3-3. セキュリティプロダクト【防火関連】



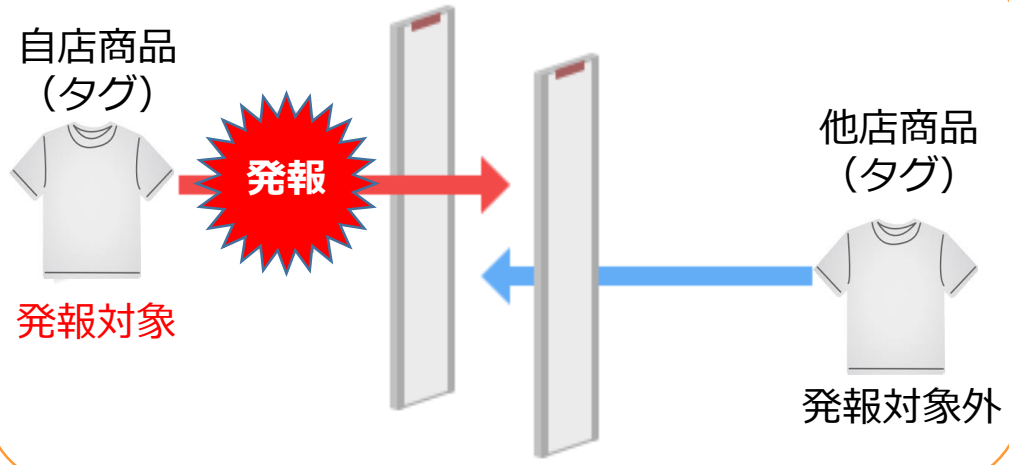
東南アジアの
PPOG防火対策費用
（2015年~2019年合計）

約25億ドル予想
(約2,900億円予想)

出典：2014年Guardfire社調べ
（単位：百万ドル）

3-4. その他ソリューションプロダクト【RFID】

① 防犯



② 業務効率化

- 棚卸時間短縮
- レジ時間短縮

空いた時間を顧客対応へ
↓
③ 顧客満足度向上

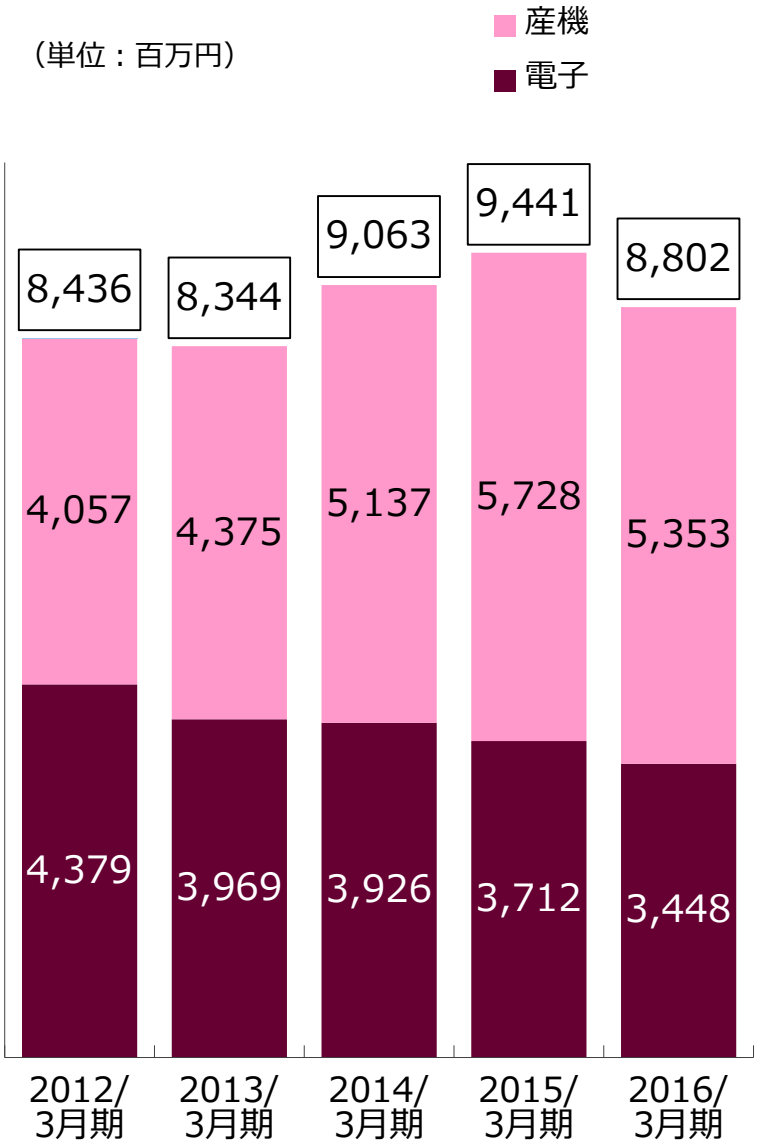
④ マーケティング

- 試着された商品の把握
- 試着されたが販売に結びつかなかった商品の把握
- 売れ筋商品のリアルタイム把握

本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. **デバイスセグメントについて**
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. 株主還元方針
8. ご参考情報

4-1. プロダクト別売上高



①増減要因

a. 2015/3月期は日本メーカーの中国向けATMや遊技機器に採用された機構部品が増収

b. 2016/3月期は遊技市場縮小の影響を受け減収

②主要販売先

■ 電子	
a	産業機器メーカー
b	情報家電機器メーカー
■ 産機	
a	金融端末機器（ATMなど）メーカー
b	オフィス用コピー機・家具メーカー
c	住宅設備機器メーカー
e	遊技機器メーカー
e	自動車内装メーカー

4-2. 産機プロダクト

ATM採用商品
後方確認用ミラー
ガススプリング
スライドレール
電子錠

OA機器採用商品
スライドレール
引込・衝撃吸収用
ダンパー

4-2. 産機プロダクト

本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. **中期経営計画**
6. 財務状況
7. 株主還元方針
8. ご参考情報

5-1. 中期経営方針と経営目標

独自ソリューションの展開とグローバル事業の拡大による
利益成長の実現

2018年度　売上目標　**255億円**、経常利益目標　**15億円**

経常利益20億円を目指し、当中期計画でV字回復を達成する

Challenge toward 2018
- Beyond Boundaries -

◇***Boundary 1*** **組織間の境界線を踏み越える**

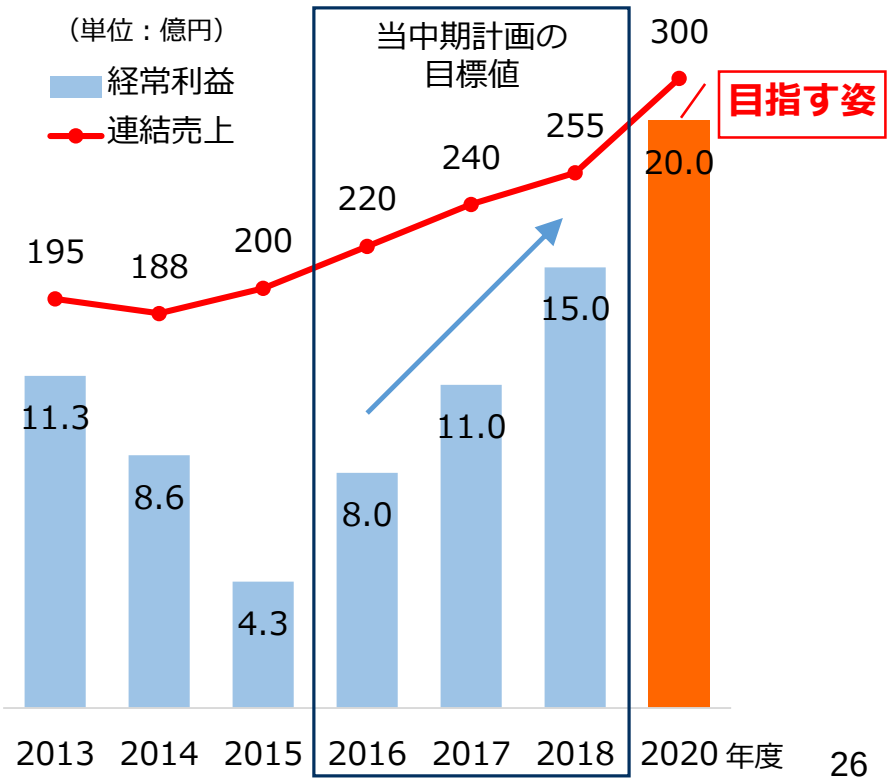
グループ内で専門的に事業展開する各社の技術と販売網を結集させ独自性を確立し競争力を強化

◇***Boundary 2*** **地域的な境界を飛び越える**

成長する海外市場への進出を加速させ成長力を拡大

◇***Boundary 3*** **事業領域の境界にチャレンジする**

新たな成長分野に挑戦し事業領域を拡大させることで、収益拡大のサイクルを構築



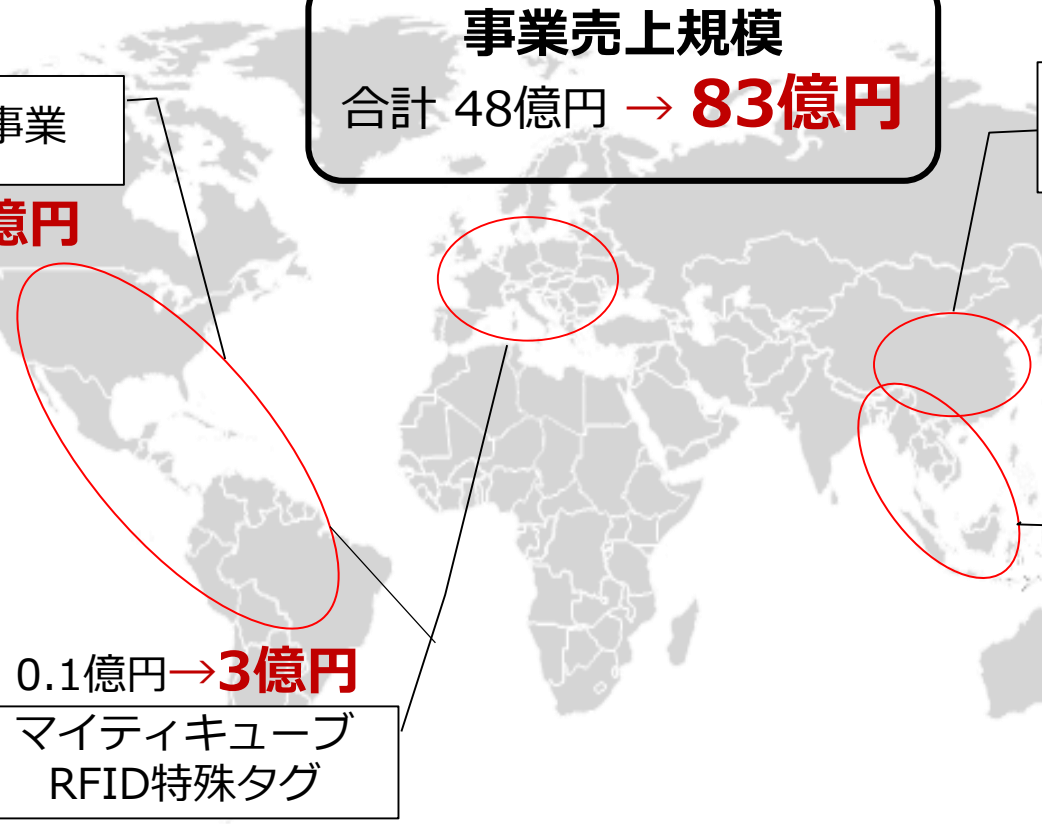
5-2. グローバル事業の展開

グローバルビジネスの拡大

① 東南アジアにおける防火システム事業の拡大
② 産機事業の海外展開（中国、アメリカ）の加速
③ 中国・東南アジアにおけるセキュリティ事業の拡販
④ RFID特殊タグの海外市場（欧州、北米）への販売

事業売上規模

合計 48億円 → **83億円**



5-3. 事業ポートフォリオ 売上拡大シナリオ

	既存商品	新商品
新規市場	**グローバルビジネスの拡大** ● 産機事業の海外展開（中国・アメリカ） ● 東南アジア防火システム事業 ● リテールセキュリティの中国、東南アジア 投資分野	**新規ビジネスの創出** ● RFIDシステム、特殊タグ ● ネット通販（新規） ● 新規事業（環境、クラウドサービス事業等） 投資分野
既存市場	● 国内商品監視システム、タグ販売 ● 入退室システム、カメラ ● ネットワーク機器 ● インサーター、IJP ● 半導体・部品販売 ● 国内スライドレール、ダンパー他 **既存市場への既存商品の販売**	● リテールRFIDシステム ● 画像認識システム ● 複合リテールソリューション ● クラウド型無線LANシステム ● デバイスソリューション **付加価値による競争力強化** 投資分野

海外販売拡大 +35億円	**新規事業推進 +13億円**
利益基盤の維持 +4億円	**付加価値向上 +16億円**

※数字は2015年度比、連結調整前数字

本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. **財務状況**
7. 株主還元方針
8. ご参考情報

6-1. 主要経営指標推移

（単位：百万円）

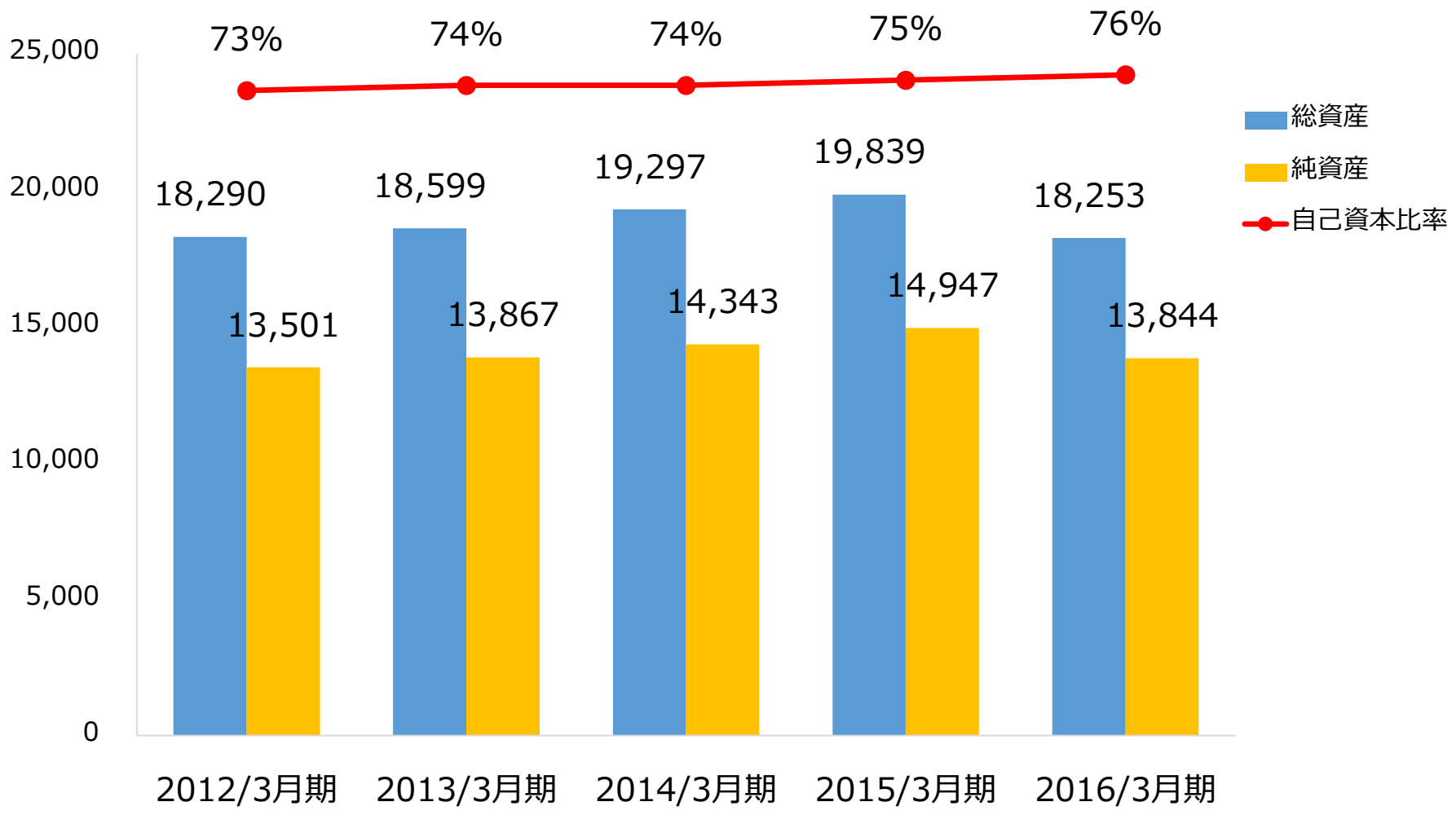
	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
流動資産	15,458	15,558	16,261	15,609	14,992
固定資産	2,831	3,040	3,036	4,229	3,261
（内のれん）	997	1,015	758	2,213	1,465
資産合計	**18,290**	**18,599**	**19,297**	**19,839**	**18,253**
流動負債	3,894	3,891	4,199	4,245	3,693
固定負債	894	840	754	646	716
純資産	13,501	13,867	14,343	14,947	13,844
負債・純資産合計	**18,290**	**18,599**	**19,297**	**19,839**	**18,253**

※無借金経営 継続中

ROE	2.6%	4.1%	4.0%	4.0%	0.7%
ROA	1.9%	3.0%	3.0%	3.0%	0.5%
自己資本比率	73.1%	74.2%	73.9%	75.0%	75.8%

6-2. 総資産・純資産・自己資本比率の推移

（単位：百万円）



本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. **株主還元方針**
8. ご参考情報

7-1. 株主還元実績

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
年間配当金	29円※	24円	24円	24円	24円
配当性向	**84.1%**	**42.2%**	**41.5%**	**39.9%**	**222.4%**
株主優待	3月末時点で単元株（100株）以上保有の株主様に 一律におこめギフト券3kg分贈呈				

※2012年3月期は創立60周年の記念配当5円あり

自社株買い	279百万円	42千円	86千円	–	311百万円

総還元性向	165.3%	42.2%	41.6%	39.9%	524.5%

配当利回り※	**3.24%**	**2.67%**	**2.24%**	**2.36%**	**2.64%**
配当利回り 優待含む※	4.72%	4.14%	3.47%	3.66%	4.09%
年度末終値	895円	899円	1,072円	1,016円	909円

※各年度末終値にて算出

7-2. 株主還元方針

① 株主様への利益還元は経営の重要な課題と認識

② 安定的かつ継続的な配当を実施

③ 加えて将来の成長に向けた投資にも注力し、
内部留保を事業拡大に活用

	2017年3月期見込
年間配当金	**24円**
配当性向	**57.2%**

本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. 株主還元方針
8. **ご参考情報**

8-1. 投資関連情報

市場	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	2676
株主数	14,023名
発行済株式数	10,171,800株
単元株数	100株
時価総額	10,354百万円
株価	1,018円
最低購入金額	101,800円
PER・連結（予想）	24.24倍
PBR・連結（実績）	0.71倍
ホームページ	http://www.takachiho-kk.co.jp

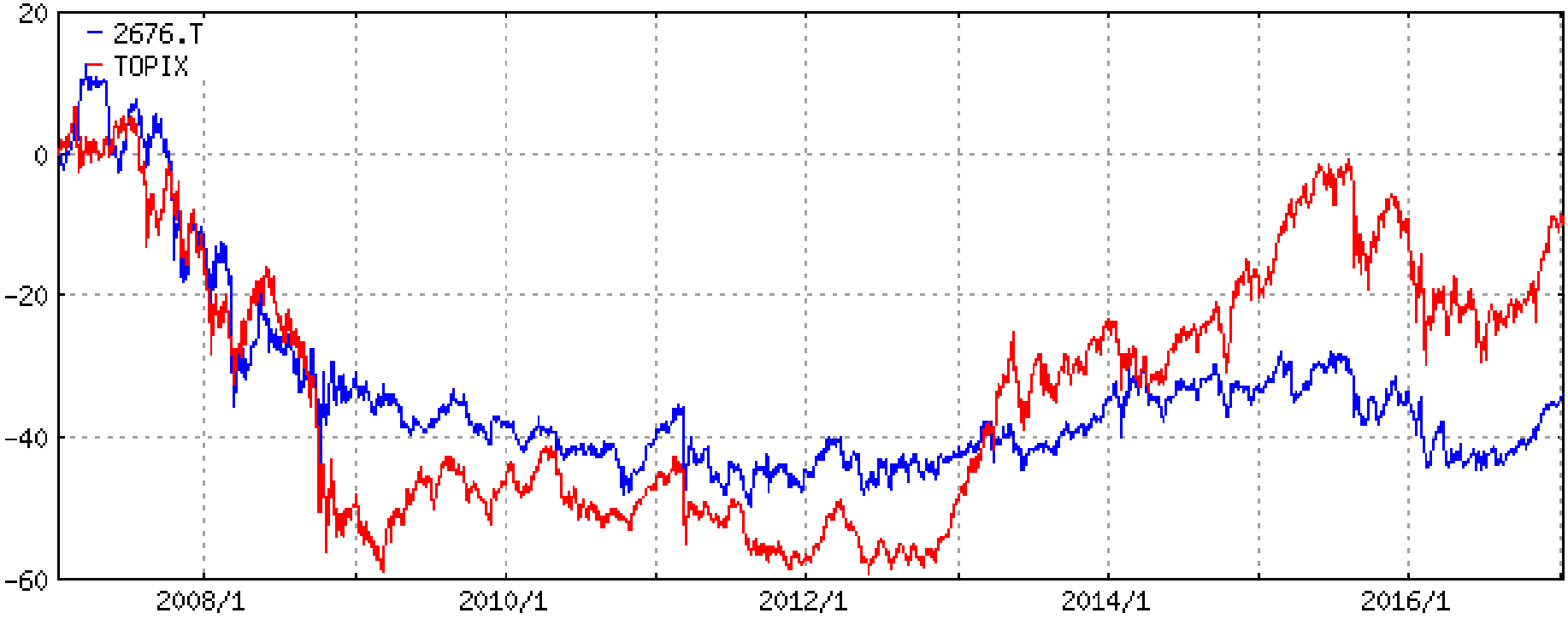
みどり：2016年3月期
ピンク：2017年1月13日終値にて算出

8-2. 株価チャート

10年間のTOPIXと当社株価の推移比較
（2007年1月を0とした場合）

赤線：TOPIX
青線：当社

（単位：%）



出典：Yahooファイナンス

ありがとうございました。

高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

【見通し等に関する注意事項】
当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、不確実な要素が含まれております。
したがって、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。